



PRIME
TOKYO

2022年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 楠元健一郎
(コード7918、東証プライム市場)
問い合わせ先 執行役員コーポレート企画室長 田口雅規
電 話 番 号 03-5155-6801

特別損失及び特別利益の発生に関するお知らせ

2022年3月期 第4四半期連結会計期間において、当社及び連結子会社にて下記のとおり特別損失及び特別利益を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の特別損失の発生及びその内容

当社は、当第4四半期において、連結子会社である株式会社扇屋西日本への貸付金の一部について債権放棄を行い、関係会社支援損 350 百万円を計上いたしました。また、連結子会社に対する貸付金について回収可能性を検討した結果、株式会社扇屋東日本、株式会社一丁、株式会社一源及び株式会社紅とんへの貸付金に対し貸倒引当金を積むこととし、特別損失として貸倒引当金繰入額 544 百万円を計上いたしました。これらにより、当事業年度においては、個別決算で特別損失 970 百万円を計上いたしました。なお、当社の個別決算で計上される上記特別損失は、連結決算では相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 連結子会社の特別損失の発生及びその内容

当社の連結子会社は、当第4四半期連結会計期間において、契約期間の満了や契約の終了又は不採算であった7店舗について閉店いたしました。加えて、将来キャッシュ・フローによる設備投資額の回収が困難と見込まれた店舗につき、固定資産の減損を実施したこと等により、減損損失 424 百万円、店舗閉鎖損失引当金繰入額 49 百万円、店舗閉鎖損失 11 百万円を計上することとなりました。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大によるまん延防止重点措置の実施に伴う自治体の時短営業要請を受け、2022年1月から2022年3月において時短営業等の対応を実施したことにより、当該期間中に発生した店舗の固定費（人件費、地代家賃等）536 百万円を、「新型コロナウイルス感染症による損失」として特別損失に計上いたしました。

上記の結果、当第4四半期連結会計期間において、連結での特別損失計上額は1,030 百万円であります。なお、当連結会計年度（4～3月）における連結での特別損失計上額は2,621 百万円であります。

3. 特別利益の発生及びその内容

当社の連結子会社は、当第4四半期連結会計期間において、店舗閉鎖損失引当金の一部について、実績値との差額を店舗閉鎖損失引当金戻入益 46 百万円計上することとなりました。

また、契約の終了に伴い閉鎖した店舗の受取補償金として67 百万円を計上いたしました。

さらに、当第4四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い雇用調整助成金等の特例措置の適用を受けており、「新型コロナウイルス感染症による損失」に計上した人件費に対応する助成金 22 百万円を、「雇用調整助成金」として特別利益に計上いたしました。また、各自自治体の時短営業要請に対する協力金 658 百万円を「助成金収入」として特別

利益に計上しております。

上記の結果、当第4四半期連結会計期間において、連結での特別利益計上額は794百万円です。なお、当連結会計年度（4～3月）における連結での特別利益計上額は4,030百万円です。

4. 当社連結業績に及ぼす影響

上記特別利益と特別損失につきましては、本日公表の「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上